

13 三重病院の サラメシ

～ 5 病棟編 ～

5病棟は、重症心身障がい児(者)病棟で1歳から74歳の方が入院しています。

スタッフは看護師35名、療養介助員6名です。お昼は、手作り弁当や売店のお弁当、時にはカップラーメン、栄養ドリンクで午後からの活力を蓄えています。

主婦は大きなおにぎりや夕飯のおかず、独身者は母の愛情こもった手作り弁当と色とりどりのバランスのいいお弁当が並んでいます。子供からプレゼントされたお弁当箱を大事に使っているスタッフもいます。もう食べ終わってしまったスタッフも…

食後のデザートにお菓子やヨーグルト、アイスクリームを食べて、毎日元気に頑張っています。

(病棟師長 藤森 博美)



栄養士さんからのコメント

どのお弁当も美味しそうですね(*^-^*) これからの暑い時期は食中毒に注意です!

コミュニケーション研修を開催しました!

今年度は、職員対象に6月7日コミュニケーション研修を開催しました。“三重病院をよくするためにはどうしたらよいか”をテーマに患者さま、職員それぞれの立場で現在の問題点や改善したほうがよい点について意見を出し合いました。また、自分が院長であったらどのようにその問題点を改善するかについても話し合いました。職員で話し合うことでたくさんのアイデアが生まれ、少しの工夫で改善できそうなこともありました。今回のように、三重病院を患者さまはもちろん、職員にとってもよい病院にするにはどうしたらよいかをグループで考えることで、職員間のコミュニケーションの機会になり、そして、職員全体で三重病院を創っていくという意識も大切であると感じました。今後もこのような機会を大切にしていきたいです。

(教育研修係長 沢口 夏季)



やまばとギャラリー 個展 information 情報コーナー

今月の作品は、行燈(あんどん)です。電気がなかった頃の灯りに、あんどんが使われていました。高田本山の盆踊りにはあんどんを飾って昔懐かしい風情が楽しめます。今年は病棟からもあんどんをつくってコンテストに出品しようと考えています。ギャラリーには一足早くミニチュアのあんどんを飾って、皆様を幻想的な世界へお連れします。

(児童指導員 筒井 皓太)



5病棟の生活のひとコマ 26

6月の5病棟の誕生会は、亀山から「チャオ」の皆さんがオカリナの演奏をしてくださいました。昔懐かしい曲から、AKB48の曲までたくさんの曲を吹いてくださいました。また、看護学生の皆さんが天使のような歌声で一緒に歌ってくれました。患者さんたちはうっとりしていました。

(児童指導員 筒井 皓太)

